

経営比較分析表（令和2年度決算）

神奈川県茅ヶ崎市 市立病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	400床以上～500床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	28	対象	ド透I未訓ガ	救 臨 災 地
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
244,475	28,878	非該当	非該当	7：1

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

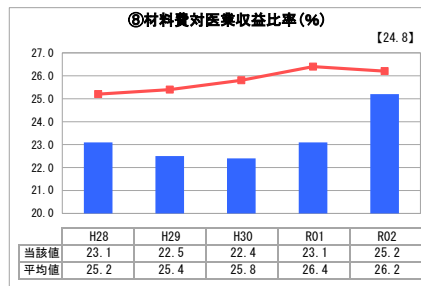
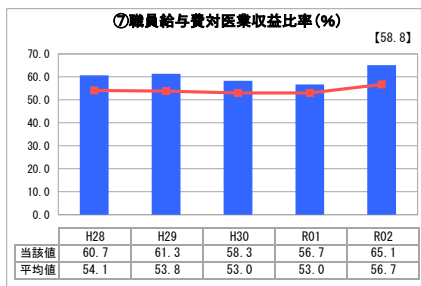
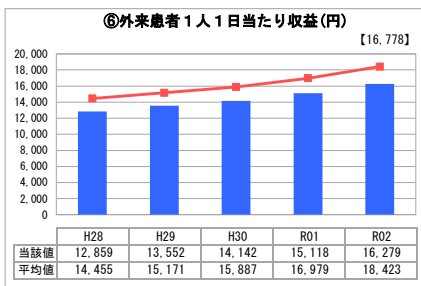
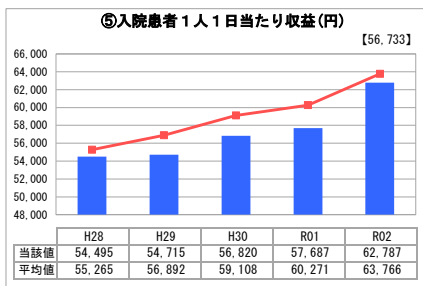
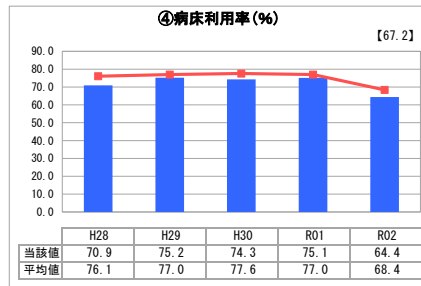
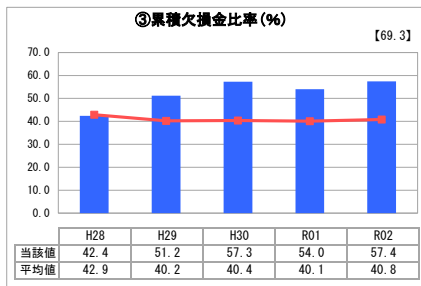
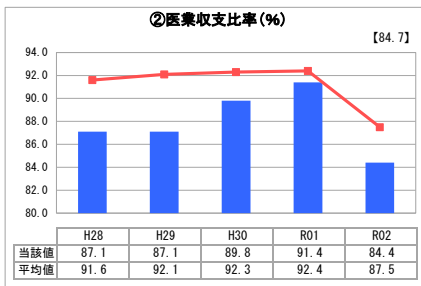
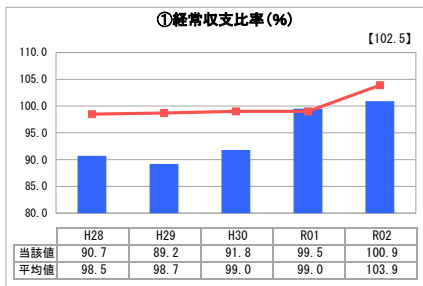
※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
401	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	401
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
401	-	401

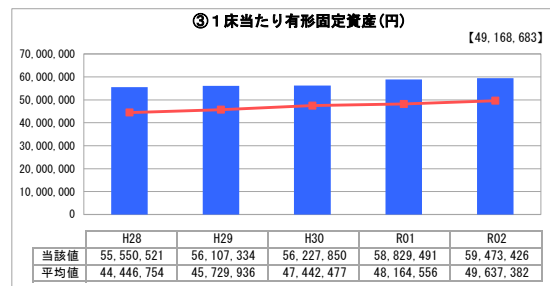
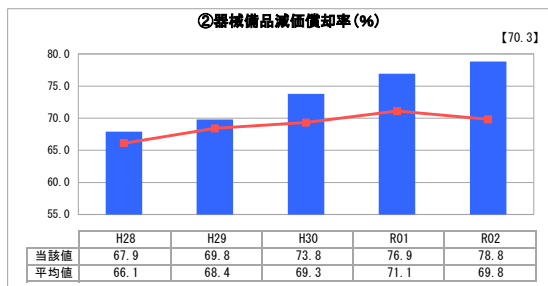
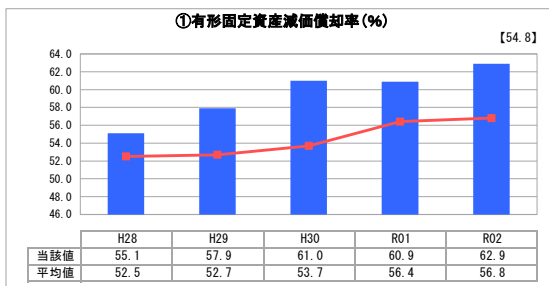
グラフ凡例

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
- 【】 令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

I 地域において担っている役割

急性期医療の役割を担う地域の急性期基幹病院として、がん治療、小児・周産期医療、救急医療等の高度で専門的な医療を提供するとともに、より重篤な患者への対応に注力できるよう、地域の医療連携のネットワークを強化しています。
また、新基準での災害拠点病院、DMAT指定病院となり災害医療体制の強化に努め、神奈川県がん診療指定病院に指定される等、病院機能の充実に努めています。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

平成28年度以降、大幅な赤字決算が続いたことを受け、令和元年9月に「茅ヶ崎市立病院リバイバル・ロードマップ」を策定し、経営改革を進めています。
当該計画に基づいた取組により、令和元年度から各種指標について改善の兆しが見えていたものの、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、医業収支比率や病床利用率については大幅に低下しています。
今後も新型コロナウイルス感染症の状況に配慮しつつ、経営の健全化に向けた取組を進めていきます。

2. 老朽化の状況について

当院の現在の建物は、平成12年に西側が、平成15年に東側がそれぞれ完成し、現在まで時代の要請に応えるために診療機能の充実及び、建物の改修を行ってきました。
令和元年7月に、病院本館機能の充実を図ることを目的とした別棟建設工事が完了したことに伴い、別棟建設によりできた病院本館の空きスペースについて、令和3年度中の運用開始を目指し、順次改修工事をおこなっています。
なお、医療機器の更新については、耐用年数を過ぎた機器が多数あるものの、各機器の状況に応じて修繕及び更新を行っています。

全体総括

令和元年9月に「茅ヶ崎市立病院リバイバル・ロードマップ」を策定し、将来にわたり健全な経営環境のもと、地域の基幹病院として市民に安全で良質な医療が提供できるよう、経営形態の変更に関する検討も含め、経営の健全化に向けた取組を進めています。
一方、令和元年12月より世界中で猛威を振っている新型コロナウイルス感染症の影響により、今後数年間における医療現場の見通しは非常に不透明な状況となっています。
こうした状況の中にあっても、医療を安定的かつ継続的に提供することができるよう、新型コロナウイルス感染症の状況に的確に対応し、引き続き経営の健全化に向けた取組を進めていきます。

※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。